



学校教育目標

人間性豊かで、徳・知・体の調和のとれた発達を促し、主体的に学習や生活に取り組む子どもを育てる。

キャッチフレーズ **BTSで笑顔いっぱい城南小学校**

Bばり明るい言葉づかい・**T**とても楽しい活動・**S**すごく前向きに挑戦

子どもの成長	めざす子どもの姿	めざす学校の姿	めざす教師の姿
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 仲良く、助け合う子ども ○ よく考え、学び合う子ども ○ たくましい心と体をもった子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 明るく活気に満ちた学校 ○ 楽しさと活力みなぎる学校 ○ 環境整備された安全で美しい学校 ○ 静かで落ち着きのあり安心な学校 ○ 優しさと厳しさのある学校 ○ 地域・保護者に信頼ある学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育愛に燃える教師 ○ 人権感覚にあふれ、子ども理解に基づいた生徒指導ができる教師 ○ 向上心をもち、子どもの学ぶ意欲と学力を高める指導力のある教師 ○ 協調性のある教師 ○ 計画性のある教師

学校と家庭・地域との連動

教育指導における取組 生きる力の育成

重点	1 豊かな心の育成	2 健やかな体の育成	3 確かな学力の定着・向上
めざす姿	豊かな人間性・社会性を身につけた子ども	心身共に健康な子ども	確かな学力を身に付けた子ども
取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関わりの中でコミュニケーション能力を培う。 <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の視点を踏まえた取組の日常化(教職員の言動等) ・児童会による「ふわふわ言葉」 ※「あいさつ運動」の推進 ・児童の自己評価等による取組評価の実施 ・実態を踏まえた構成的エンカウンター等による人間関係づくり ○ 特別支援学級を中核に据えた共生に関する教育を実施する。 ※ 特別支援教育指導体制の共通理解と充実を図る。(情緒学級の新設) ○ 道徳教育、特別活動の定着と充実を図る。 ○ 児童の自主・自立を促す児童会活動の確立を図る。 ※ 児童の健全育成といじめ・不登校の解消を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 積極的に※外遊びや集団遊びができるよう指導していく。 ・学級集会等意図的な実施 ・計画委員会等による啓発活動 ○ 新体力テストを踏まえた体力の確かな向上を図るとともに体育の日常化に努める。 ○ 情報モラル教育の推進を図る。 ○ 命に関する教育の充実に努める。 ○ 健康教育の推進とともに望ましい生活習慣を継続できる力を育成する。 ○ 食に関する計画的・継続的な指導を推進する。 ○ PTAと連携して生活習慣の改善を図る。 ○ 日常の観察の徹底「気になっていることをそのままにしない」 ○ 組織的な対応「全職員が知っておく」 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 子どもが生き生きと学ぶ魅力ある授業をつくる。(学びの深まりを実感する「学習者主体」の授業) ・学力調査の結果分析と活用 ・学年間での授業公開の交換授業の実施 ・1単位授業における「めあて」と「まとめ」の明確な位置づけ ・テーマ研究を中心に話し合う活動の位置づけ・振り返り評価の実施 ・ICTを活用した新学習スタイルの確立 アナログとデジタルのベストミックス ○ 家庭学習の定着を図る。 ・個に応じた課題の設定(1人1台端末) ・自主的、計画的な自学の推進 ・意欲を喚起する評価の工夫 ○ 少人数指導の充実 ※ 本に慣れ親しむ活動に取り組む。(多読) ・朝読タイム、読書ボランティアとの連携 ・市立図書館巡回図書を活用 ・図書委員会児童による啓発活動の推進

活気ある学校

学校のあり方としての取組

共育創造

重点	4 信頼にたえ得る教職員の育成	5 信頼される学校づくりの推進	6 社会全体での子どもの育成
めざす姿	「チーム城南」の一員として学校運営に参画する教職員	自主性や自立性が確立され、家庭や地域に開かれた学校	多様な子どもや保護者を受け入れる共生社会
取組	<ul style="list-style-type: none"> ※ 効率的な校務を推進する。 ・会議の精選とスリム化・仕事の段取りや方法を見直して少しでも早く帰る努力をする。 ○ 組織としてのベクトルを揃え、教育活動の効果を高める。 ※ OJTの推進による若年層教員の育成を図る。 ・学習、生活指導力向上・保護者や地域等との適切な対応力の向上 ○ 危機管理に基づき、組織体制を整備する。(危機管理マニュアルの共通理解) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者・地域と連携する。 ・情報発信及び情報収集 ・行事の融合(地域と学校) ・授業の意図がわかる参観 ・参加体験型の懇談会 ○ 外部機関との連携を図る。 ・課題のある子どもの対応 ・情報の共有化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・地域における子どもたちの実態の共有と改善を図る。 ・学力の状況 ・人権教育の進捗状況 ・特別支援学級の状況 ・生徒指導上の状況 ○ 地域の教育的資源「人・もの・こと」を活用する。 ※ 城南中学校ブロックで連携する。

